

平成29年度 山口県中学校各種選手権大会 開催地・参加規定一覧(案)

No.	種 目	月	日	開 催 地	参 加 規 定
1	第 63 回全日本 通信陸上競技 山口県大会	7	21 ～ 22	山口市 維新百年記念公園 陸上競技場	男 16 種目、女 12 種目、1 人 2 種目、リレーは除く。学年種目は相当学年、共通種目には、どの学年も出場可。参加標準記録突破者及び参加条件を満たす者。監督を含め参加学校の指導者には審判割り当てを必ず行う。ナンバーカード、スパイクピンについて規定。
2	第 57 回水泳競技 選手権大会	7	15 ～ 16	山口市 山口きらら博記念公園 水泳プール	男女各 15 種目、学校対抗、2017 年度山口県中学校水泳大会参加標準記録により 1 校 1 種目 3 名以内 1 人 2 種目以内。参加校は 1 名の競技役員を出す。申し込みについては Web による申し込みの後、所定の出場申込書を使用すること。全国標準記録突破者は全国大会出場。決勝 3 位までの入賞者(リレー種目 1 位のチーム)は中国大会に出場。
3	第 51 回体操競技 選手権大会	7	15 ～ 16	山口市 維新百年記念公園 スポーツ文化センター	団) 学校単位、フリー参加 1 チーム 4 名(3 名可)。個) フリー参加。団体(3 種目)は男女とも 1 位まで、個人(4 種目)は 4 位まで中国大会出場。
4	第 51 回新体操 選手権大会	7	16	山口市 維新百年記念公園 スポーツ文化センター	団) 学校単位、フリー参加、手具、クラブ 5 名。個) フリー参加、手具、フープ・ボール。団体 2 位、個人 4 位まで中国大会出場。
5	第 50 回相撲 選手権大会	7	16	下関市 響高校相撲場	団) 学校単位、自由参加 1 チーム 3 名、補 2 名。チーム対抗の予選リーグ、決勝トーナメント法。参加チーム数により異なる場合もある。上位 2 チームは中国大会出場。 個) フリー参加を認める。トーナメント法。(参加チームが少ないときはリーグ戦)まわしの前に学校名。個人の中国大会出場枠は個人戦上位 3 名と団体出場者とする。個人戦決定後個人体重別を行う。軽量級(65kg 未満)中量級(85kg 未満)重量級(85kg 以上)の 3 段級トーナメント法(フリー参加を認める)
6	第 50 回柔道 選手権大会	7	22 ～ 23	萩市 萩ウエルネスパーク 萩武道館	男団) 学校単位 1 チーム 5 名、補 2 名、大将を 1 番重い者、後は順。 男個) 50kg 級、55kg 級、60kg 級、66kg 級、73kg 級、81kg 級、90kg 級、90kg 超級に分け各段階各支部から次の人数まで出場できる。団体戦は学校対抗 1 校 1 チーム。個人戦 各段階の人数 大島④ 岩国⑧ 柳井④ 熊毛④ 光④ 下松④ 周南⑧ 防府④ 山口⑧ 宇部⑥ 山陽小野田④ 美祢④ 下関⑧ 長門④ 萩阿武④ 女団) 学校単位 1 チーム 3 名。補 2 名。大将を 1 番重い者、後は順。 女個) 40kg 級、44kg 級、48kg 級、52kg 級、57kg 級、63kg 級、70kg 級、70kg 超級に分け各階級に分け各階級各支部から次の人数まで出場できる。団体戦は学校対抗 1 校 1 チーム。個人戦 各階級の人数 大島④ 岩国⑧ 柳井④ 熊毛④ 光④ 下松④ 周南⑧ 防府④ 山口⑧ 宇部⑥ 山陽小野田④ 美祢④ 下関⑧ 長門④ 萩阿武④ 男女団体戦は原則としてトーナメント、上位 4 チームでリーグ戦を行う。コーチは 1 校 1 名以内にする。(詳しくは別紙要項通り)
7	第 49 回剣道 選手権大会	7	22 ～ 23	岩国市 岩国市総合体育館	<団体戦> ・出場資格を得た 1 校 1 チーム (監督 1 名、選手 5 名、補員 2 名、マネージャー 1 名) ・今年度春季県体 3 位以内(東部、西部とも) ・各支部 男子 支部内実チーム数の 1/2 (端数は切り上げ) 女子 支部内実チーム数の 2/3 (端数は切り上げ) ・開催支部は自由参加 <個人戦> ・出場資格を得た選手 監督 1 名※監督は出場資格を得た学校の校長・教員に限る。(県中体連引率規程に準ずる) ・今年度春季県体 8 位以内(東部、西部とも) ・各支部 支部内チーム数の 1/2 (端数は切り上げ、ただし、2 校以下の支部は 2 名出場可) ・開催支部は 12 名
8	第 57 回バスケットボール 選手権大会	7	23 ～ 25	下関市 山口県立武道館 下関市体育館 他	各支部の出場数は、県専門委員長会議で決定した出場枠による。選手 15 名、引率責任者、監督、コーチ、マネージャー各 1 名のベンチ入りを認める。コーチについては、県中体連に登録してある者とする。また、トレーナーのベンチ入りを手続き後認める。トーナメント方式。ユニフォームは濃淡 2 着。チーム関係者で審判。今年度は上位 4 チームが中国大会へ出場。
9	第 52 回バレーボール 選手権大会	7	22 ～ 23	山口市 やまぐちフレッシュパーク スポーツ文化センター 防府市 ソルトアリーナ防府	男) オープン参加。 女) 支部 1/3 切り上げ。東西県体各ベスト 4 は無条件出場。開催地山口は 12 チーム以内、防府は 6 チーム以内 1 チーム選手 12、監督、コーチ、マネージャー(生徒に限る)各 1 該当校教職員、又は外部コーチとして認められた者、1～18 番のユニフォーム。監督、コーチ、マネージャー主将等のマーク着用。敗者審判。男女各 2 中国大会出場。

No.	種 目	月	日	開 催 地	参 加 規 定
10	第 51 回ソフトテニス 選手権大会	7	22 ～ 23	山口市 維新百年記念公園 テニス場	年度当初の現有校数により 団)4校まで1校、8校まで2校、12校まで3校、16校まで4校、17校 以上5校、開催地はプラス1校のトーナメント戦。 個)2校まで2ペア、4校まで4ペア、6校まで6ペア、8校まで8ペア、 12校まで10ペア、16校まで12ペア、17校以上16ペア、開催地はプ ラス2ペアのトーナメント戦。但し、春季県体東西団体戦各2位まで、個 人戦各3位までは枠外シードとする。服装の上は襟付き、半袖のスポー ツシャツ、下は膝より上のパンツ、スコートを着用すること。服装(用具を 含む)の色は華美にならないようにする。選手は背中ゼッケン、監督・コ ーチは胸ゼッケンをつけること。団2位、個8位までは中国大会出場。
11	第 51 回卓球 選手権大会	7	24 ～ 25	防府市 ソルトアリーナ防府	団)1校1チーム(6～8人編成)参加制限。別途出場枠規定により前年 度新人戦出場学校数による比例代表で決定したチーム数。(東西県体 ベスト8以上は枠外参加、開催支部フリー参加) 個)別途出場枠規定により、前年度新人戦出場学校数における比例代 表で決定した人数。但し、東西県体ベスト16以上は枠外参加。 団)トーナメント、ベスト8よりリーグ戦、3点先取法、6人制(4S1W、S・W は兼ねない)男女とも1～2位が中国大会出場。アドバイザーは当該校 教職員及び中体連登録コーチのみ認める。 個)トーナメント、11本5ゲームマッチ、男女ともベスト8が中国大会出 場。アドバイザー1名は5回戦より認める。 ※ユニフォームはできるだけ同系色のものを1着用意(開会式・第1試 合に着用)のこと。 試合球はホワイトの40mmの公認球(ニッタク・TSP・バタフライ)
12	第 51 回軟式野球 選手権大会	7	24 ～ 26	下関市 下関球場 下関第2球場 豊北球場 夢が丘球場	山口地区、下関地区各3。大島・柳井・熊毛地区1。その他の地区から は、各2。開催地はプラス1、及び、春季県体優勝チーム。ベンチ入りで きる者は、監督(引率責任者)1名、選手18名以内(スコアラーを含 む)。また、この他に教員を2名追加することができる。ただし、外部指導 者コーチ(県中体連に登録された者に限る)が入る場合は1名とし、計 21名以内とする。選手は同一のユニフォームを着用し、背番号は1～18 (スコアラーを含む)とする。監督、コーチは選手と同一のユニフォーム を着用し、監督は背番号30を、コーチは背番号29をつける。1試合の 回数は7回までとし、同点の場合は9回までとする。これで勝負が決し ない場合は特別延長戦を行う。5回以降7点差が生じた場合はコールド ゲームとする。1・2位は中国大会出場。
13	第 51 回ソフトボール 選手権大会	7	22 ～ 23	防府市 防府市スポーツセンター 南側運動広場	学校単位及び県中体連の認める合同チーム、1チーム選18(スコアラー 含)・部1・監1・コーチ1。選手・監督・スコアラーはユニフォームを着用、 背番号1～25番、監督30番、主将10番、トーナメント7回戦、7回終 了時、同点の時は8回からタイブレーカーにより試合を行う。3回15点、 4回10点、5回以降7点差以上の差が生じたときは、得点差コールドゲ ームとする。「故意四球」を導入する。「故意四球」と宣言したら投球せ ずに四球とする。)2チームが中国大会出場。
14	第 54 回サッカー 選手権大会	7	22 ～ 24	山口市 きらら博記念公園 ラグビー・サッカー場 多目的広場	学校単位1チーム。参加16チーム。岩国・柳井②、光・下松・周南②、 防府①、山口②美祢・長門・萩阿武①、宇部・山陽小野田②、下関②、 推薦④(春季県体優勝・準優勝チーム)1チームは監・引・コ各1・選 18。監・引は出場校の校長、教員。コーチは県中体連に登録された外 部指導者又は当該校の教員とする。申込に記載した背番号(前面・背 面)のユニフォームを着用、他の色のユニフォームを用意、背番号は選 手固有の番号とする。1・2位中国大会出場。
15	第 53 回ハンドボール 選手権大会	7	22 ～ 23	周南市 麒麟ビバレッジ 周南総合スポーツセンター	学校単位、自由参加1チーム15名。ユニフォーム濃淡2色。GK、CPを はっきり区別できるもので黒色は用いない。男女上位4チームは中国大 会出場。粘着テープのみ可。ポイントシューズ不可。
16	第 53 回弓道 選手権大会	7	23	山口市 維新百年記念公園 弓道場	団体戦、個人戦。学校単位、1チーム3名、チーム制限なし 個人戦出場者数、制限なし。1人4矢3立の12射。
17	第 38 回バドミントン 選手権大会	7	24 ～ 25	山口市 やまぐちリフレッシュパーク	団)学校単位1チーム5～7人編成、2複1単で単・複を兼ねない。出 場枠は要項による。 個)1校2複2単。ただし、春季県体でベスト4に入賞した学校は出場 枠をプラスする。同一選手が単・複を兼ねない。団体4位、個人4位まで は中国大会出場。
18	第 37 回スキー 選手権大会	平 30 1	～	広島県山県郡北広島町 芸北国際スキー場	男女共通、アルペン(SL、GSL)、クロスカントリー(クラシカル、フリー)、 リレー。アルペン出場者はクラッシュヘルメット着用、並びにスキーブ レーキをつけること。人数制限なし。参加校は1名の競技役員を出すこ と。引率・監督・コーチは当該校の教員とする。